

みどりの杜俳句会



水仙の株殖え伸びて葉の青し	西 ツル
山の空雲一つなき小春かな	吉田 愛子
山茶花の甘き香りに小蜂来る	梅澤 時江
庭畑の大根の葉の柔らかし	田村 好子
生垣の満点星紅葉赤の濃し	鈴木 啓子
大輪の山茶花開き蜂の来る	梅沢喜久江
山畑に山茶花の咲き朝日差す	小宮 勉
寺の堀伝い朱に熟れ烏瓜	初雁 功子
秋祭り法螺貝い響く木の根道	土屋 厚子
朴落ち葉重なり踏まれ木の根道	山田 美子



人権シリーズ

【人権感覚の育成】

(421)

先日2年生で「きいて きかれて いいきもち」という授業をしました。最初はジェスチャーゲームから始まりました。子供たちは楽しいゲームに盛り上がっていましたが、次第に表情や身振りだけでは自分や相手の気持ちが伝わりにくいことを感じ始め、言葉の便利さに気付きます。そこでこの後、どのようにしたら相手の思いを正しく理解できるようになるかを真剣に考えていきました。

この授業は「よい聞き方」とはどのような聞き方なのかを考える授業です。「よい聞き方」をするためには、お互いの気持ちを理解することが大切であると、体験的に学習することを通して、考えを伝え合い、他者への共感力や連帯感を育てることをねらいとしたものです。

これは、埼玉県が学校における人権感覚の推進にあたり行っている「人権感覚育成プログラム」の一つです。このようにして今、小学校から子供たちに人権感覚を身に付けさせていこうとする取組が行われています。それは「人権とは・・・」と難しい言葉を使わずに、さまざまな人権に関わる課題を身近な題材として、子供たちが他者の心の痛みや、感情を共感的に受容するための想像力や感受性を育成していこうというものです。このように心の柔らかい子供のうちから、感覚的に自分を大切にすること、他者を大切にすることを身に付けていったら、これからは生きる子供たちの未来が、今よりもっと多様性を認め合った、みんなが生きやすい世界になるのではないかと思います。

槻川小学校教諭 羽太 久美子

アートの世界

まさに楽しそうな作品である。作家によれば孫の姿だという。木版で人物は難しい。なかなか肌の質感が出せないのだ。その点この作品は丁寧に版を重ね、その質感を見事に表現している。

また、扱うテーマも教育長賞にふさわしいと評価しこの賞となった。

(実行委員会より)



版画フォーラム2024 和紙の里ひがしちちぶ展
東秩父村教育委員会教育長賞 「わアーっ!!」
作者 前田 博則さん (広島県)